

ウォッチガード、1,000 万ドル規模の AI 投資の一環として AI イノベーションチャレンジで 5 つの受賞チームを発表

セキュリティ対策の効果と運用効率を向上させる実用的な AI イノベーションに対する
需要の高まりを受け、世界各国の MSP が積極的に参加

2026 年 8 月 28 日（金） - 企業向け統合型サイバーセキュリティソリューション（ネットワークセキュリティ/アイデンティティセキュリティ/エンドポイントセキュリティ）のグローバルリーダーである WatchGuard (R) Technologies の日本法人、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、以下ウォッチガード）は、AI を活用したサイバーセキュリティの未来を形成することを目的としたグローバルコンテスト、「AI イノベーションチャレンジ」の受賞者を発表しました。寄せられた応募内容の卓越した品質を評価し、ウォッチガードは CNS Outsourcing IT（ポーランド）、**株式会社コムネットシステム**（日本）、{e}Mazzanti Technologies（米国）、Metrocom Ltd（ニュージーランド）、Offsite OÃœ（エストニア）の 5 社（アルファベット順）を受賞者に選出しました。受賞者は、テネシー州ナッシュビルで開催される「WatchGuard Impact North America」で表彰され、同社の経営陣と交流するとともに、AI を活用したサイバーセキュリティの未来への貢献が称えられます。

ウォッチガードの 1,000 万ドル規模の AI イノベーションイニシアチブの一環として企画されたこのコンテストでは、MSP や IT の専門家を対象に、セキュリティ部門の業務スピードの向上、運用の効率化、および顧客保護の強化に役立つ AI エージェント、ワークフロー、自動化に関するアイデアの募集が行われました。このコンテストには、三大陸にわたる 19 ヶ国から数百件の応募が寄せられました。参加国には、米国、英国、ドイツ、ベルギー、スペイン、日本、スイス、デンマーク、カナダ、オーストラリア、ポルトガル、ブルガリア、ルクセンブルク、スウェーデン、エストニア、ポーランド、ニュージーランド、オランダ、ノルウェーが含まれ、サイバーセキュリティにおける実用的な AI アプリケーションに対する世界的な関心の広さが示されました。

選出された受賞者は、本コンテストを通じて浮き彫りになった業務効率の向上、セキュリティ管理の合理化、サイバーレジリエンスの強化、そして MSP が顧客により大きな価値を提供できるよう支援する機会など、最も注目すべきテーマのいくつかを体現しています。

ウォッチガードの CEO、Joe Smolarski（ジョー・スモラルスキー）は次のようにコメントしています。「今回の応募作品は私たちの期待を上回るものであり、私たちがかねてより確信していたこと、すなわち『最も価値あるイノベーションは MSP コミュニティから直接生まれる』という点を改めて裏付けてくれました。パートナー各社は、今日のサイバーセキュリティを形作る運用上の課題やビジネスチャンスに最も近い立場にあります。そのため、優勝者を 1 社選ぶのではなく、ファイナリスト 5 社すべてを表彰することにしました。各社が、AI を活用してセキュリティチームがより優れた成果を上げ、より効率的に運用し、顧客により良いサービスを提供するための説得力のあるビジョンを提示しているからです。」

ウォッチガードの AI チームおよびプロダクトチームは、今後のイノベーションや製品開発の取り組みに活かすため、最終選考に残ったコンセプトや応募全体の傾向について引き続きレビューしていきます。

「AI イノベーションチャレンジ」は、ウォッチガードが AI 主導のイノベーションに向けて行っている広範な投資の一環です。同社は最近、MSP 向けに特別に設計された自律型 AI デジタルワークフォース「Rai（レイ）」をリリースしたほか、OpenAI や Anthropic をはじめとする主要な AI プロバイダーの高度な機能をウォッチガードのセキュリティチームが利用できるようにする、マルチモデルフロンティア AI 戦略を発表しました。

MSP コミュニティの皆様は、10 月 5 日から 7 日までナッシュビルで開催されるウォッチガードのイベントに招待されています。受賞者を称えるとともに、ウォッチガードがサイバーセキュリティの未来をどのように築き上げているかについて学ぶ機会となります。

*本資料は、本社が発表したプレスリリースの翻訳版です。

【WatchGuard Technologies について】

ウォッチガードは、マネージドサービスプロバイダー（MSP）向けに設計された統合型サイバーセキュリティ分野におけるグローバルリーダーです。30 年以上にわたり、MSP が大規模なセキュリティ対策を提供する方法を確立し、脅威情勢のあらゆる大きな変化に先んじるべく、絶えず革新を続けてきました。AI を活用した「Unified Security Platform（R）」により、ゼロトラストに対応したネットワーク、エンドポイント、アイデンティティ保護機能を単一の統合プラットフォームで提供し、複雑な運用の軽減、対策成果の向上、ビジネスの効率的な成長を可能にします。世界中で 150 万社以上の顧客を保護する 25,000 社以上の MSP に利用されており、パートナーが世界中の顧客に対して、強力かつ測定可能なセキュリティの成果を提供できるよう支援しています。

さらなる詳細情報、プロモーション活動、最新動向は X（@WatchGuardJapan）、Facebook（@WatchGuard.jp）、をフォローして下さい。

X：<https://twitter.com/WatchGuardJapan>

Facebook：<https://www.facebook.com/watchguard.jp>

また、最新の脅威に関するリアルタイム情報やその対策法は SecplicityJP までアクセスして下さい。

SecplicityJP：<https://www.watchguard.co.jp/security-news>

WatchGuard は、WatchGuard Technologies, Inc.の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

【本プレスリリースに関するお問合せ】

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-11-9 BPR プレイス神谷町 5 階

マーケティング担当

Tel：03-5797-7205 Fax：03-5797-7207

Email：jpnsales@watchguard.com

URL：<https://www.watchguard.co.jp>